

## 重心教育部「自立活動」学習指導案

指導者 重心教職員全員

### 1 対象及び日時、場所

11月19日(水) 10:00～10:45  
Aグループ 5・6教室  
Bグループ 2教室 (F・Yさん 3病棟)

<事後研 職員会議終了後>

### 2 単元

「自立活動」 (「付きたい力を引き出す教材・教具」を用いて)

### 3 単元のねらい

- ・ 全身の緊張を抜き、心身ともにリラックスする。
- ・ 上肢下肢の随意的運動をより豊かにする。
- ・ いろいろな感覚刺激をリラックスして豊かに受け止める。

### 4 児童生徒の実態

個別の教材カード参照

### 5 指導体制 ( )は児童生徒名

省略

### 6 単元設定の理由

「自立活動」は普段午前中を中心として日常的に個別で取り組んでいる。

昨年の授業研究では、「個に応じたねらいを設定した一連の取組」ということで全員がその取組の流れとねらいを示した表を作成した。今年度はその自立活動の中で、「付きたい力を引き出す教材・教具」をテーマにそれぞれが作成または工夫を加えた教材を用いて行う。

重心教育部では、かねてより実態に合わせた教材や保持具などが多く作られており、今現在も大切な財産となって使われている。既製の教材・教具はそのまま使うことが難しい上に、手軽に手に入りやすいものも多いことから、ねらいを追求するにはその都度実態に合ったものに工夫したり作ったりする必要がある。事前の教育部研では、重心教育における教材・教具の機能や工夫、開発の観点、留意点などを改めて話し合い確認した。その教材・教具が子どもたちの力を効果的に引き出し豊かな刺激を与えるものになっているかを見ていただければと思う。

### 8 評価の視点

・ 個に応じて用意した教材・教具を使って、ねらいにせまる取組ができているか。(持っている力を引き出すものになっているか。)

### 9 参観の視点

- ・ 実態に合った教材・教具の提示ができているか。
- ・ 実態に合った内容及びねらいの設定がされているか。
- ・ 指導方法、配慮点が適切か。
- ・ 児童生徒が無理なくリラックスして取り組んでいるか。

## 7 本時の展開

### \*B グループ

時間	学習内容	学習活動	留意点など
10:00	健康観察 朝の会 光遊び	あいさつ、歌「すてきな日になれ」 天井からつるした光るデコレーションを見ながら、気持ちをリラックスさせる。	吸痰、酸素チェック 呼吸の様子など観察  (暗転) 光を感じやすい向きや姿勢にする BGM
10:10	個別の活動	*それぞれの教材を用いて  Aさん:「お絵かきボード」 Bくん:「どんな音がきこえるかな?」 Cさん:「みいつけた!」の触る絵本 Dさん:「打出の小槌」 (病棟内) Eさん:「光る紙芝居」「筆ホルダー」	<個別の教材カード参照>  教材に集中しやすいような聴覚的、視覚的な配慮 取組やすい姿勢づくり 安全面への配慮
10:40	終わりの会	まとめ (様子交流) 歌「手をつなごう」 さよならの挨拶  車椅子への移動	健康観察

\* 学校看護師の動き：登校時の健康観察、酸素チェック

授業中の体調観察及び吸痰などの医療的ケア

病棟への報告表への記入 (担任が担当看護師に報告)

準備物：光のデコレーション、BGM、各教材

## 8 評価の視点

・個に応じて用意した教材・教具を使って、ねらいにせまる取組ができているか。(持っている力を引き出すものになっているか。)

## 9 参観の視点

- ・ 実態に合った教材・教具の提示ができているか。
- ・ 実態に合った内容及びねらいの設定がされているか。
- ・ 指導方法、配慮点が適切か。
- ・ 児童生徒が無理なくリラックスして取り組んでいるか。